

議会だより

農村広場に完成した
仮設住宅



議員報酬削減案を否決

..... 2

災害関連予算を議決(第4回臨時会)	4
校庭の表土除去に関する予算など可決(第5回臨時会)	5
町の課題を問う(一般質問)	6
原発災害についてのお知らせ	14

賛成少数で否決!

6月定例会は6月22日から28日までの7日間の会期で開かれ、東日本大震災により22年度中に完成できなかった工事の繰り越しの承認や、被災した校舎の復旧工事費などについて、審議のうえ原案のとおり可決しました。

なお、一般質問は8人が登壇し、町政全般について当局の考えを質しました。

議会の議員報酬の特例に関する条例(議員報酬削減条例)

○提案者

黒沢敏雄議員

○提案の内容

議員報酬の10%削減
(7月支給分から
任期中まで)

※削減分の使途については
は町当局に一任する。

討論

反対討論

●原発事故により町民が大きな不安を抱えて生活している中で、報酬の削減以前に議員として為すべきことがあるのではないか。報酬の削減は原発事故が収束してからでも遅くはないと思うので、今回の提案には反対する。
(嶋原利光議員)

●議員報酬については、昨年特別委員会を設けて十分議論してきた。その結果、報酬については議会制民主主義の発展のためにも保障すべきとの結論になったはず。日々放射能に怯えている町民が安心・安全に暮らせるよう諸制度をつくり、当局と一体となって復興に当たっていくことが筋である。削減分の使い道を当局に一任するだけでは町民の負託に応えられないと思うので反対する。
(高橋道弘議員)

賛成討論

●なし

採決

採決の結果、賛成少数で否決されました。

賛成した議員

高橋真一郎、斎藤博美、昆久美子、菅野意美子、新関善三、黒沢敏雄、五十嵐謙吉

反対した議員

高橋道弘、嶋原利光、高橋道也、菅野清一、三浦浩一、石河 清、遠藤宗弘、高野善兵衛、以上7人

予算の補正

●一般会計補正予算

質問

スクールバスの運行委託については議会としても業者ではなく個人に委託すべきとしているが、なぜ業者に委託することになったのか。
(高橋道弘議員)

答

公募する時間がなかったので業者に委託することにしたが、今後見直しも含めて検討したいと思います。

(こども教育課長)

質問

県外への避難者に対して、予防接種などの情報を積極的に流していく必要があると思うがどうか。(遠藤宗弘議員)

答

県外に避難している方の情報をしっかりと把握し、積極的に支援していく必要があると考えます。(保健福祉課長)

人事案件

●副町長の選任について

永田嗣昭氏の副町長の就任に同意しました。なお、永田氏は福島県から出向され副町長に就任されます。



なが た つぐあき
永田嗣昭氏

●監査委員の選任について

斎藤庸夫氏の再任に同意しました。



さいとうつねお
斎藤庸夫氏

議員報酬削減案

脱原発を宣言し自然エネルギーの開発と普及を求める意見書

去る3月11日に発生した東日本大震災によって、福島第一原発が重大な事故を起こしてから3ヶ月以上になるが、事態がまだ収束の目処が立っていないばかりか、放射性物質の拡散が続き深刻である。

また本町の「山木屋地区」が「計画的避難区域」となり、避難にあたってはさまざまな困難をきたし、町内全域においても強い不安を抱えている状況にある。このような深刻な事態を引き起こした最大の要因は、これまでの政権党が「日本の原発は安全である」と、その建設を続けてきたことが挙げられる。

この重大事故から国民の命と暮らしを守り、未来に向かって希望が持てる国にしていくために、政府は原発から撤退すべきである。世界では既に原発から太陽光をはじめ、風力、波力、小水力、バイオマスなど自然エネルギーへの転換が図られているが、日本のエネルギー政策は大きく立ち遅れている。

世界有数の地震国日本は、原発の立地条件が悪く、また原発技術は未完成で危険なうえ、放射性廃棄物の処理方法がまったく確立していないなど問題点が多いため、政府は現状を厳粛に受け止め、「脱原発宣言」を国内外に宣言し、自然エネルギー社会への移行に全力を挙げるよう求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年6月28日

内閣総理大臣 菅 直人 様

衆議院議長 横路孝弘 様

参議院議長 西岡武夫 様

福島県伊達郡川俣町議会

●情報公開審査会委員の任命について
次の4人の任命に同意しました。

●安齋 康男氏

字中丁

●佐藤ノブ子氏

大字鶴沢字宮ノ脇

●佐藤 好弘氏

字西戸ノ内

●佐藤 喜一氏

福島市腰浜町

●中井勝己氏

福島市蓬萊町

議員提案

●脱原発を宣言し自然エネルギーの開発と普及を求める意見書

原子力からの脱却を目指すべきであるとの意見を全会一致で採択し、内閣総理大臣はじめ衆参議長に送付しました。



布引高原風力発電所（郡山市）

6月定例会審議結果

議案	件名	審議結果
第48号	平成23年度川俣町一般会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
第49号	平成23年度川俣町水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第50号	平成23年度川俣町飯坂財産区特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第51号	川俣町監査委員の選任について	同意（全会一致）
第52号	川俣町情報公開審査会委員の任命について	同意（全会一致）
第53号	川俣町副町長の選任について	同意（全会一致）

災害関連予算を可決！

5月31日、第4回臨時会が開催され、さきの東日本大震災により被災した道路、住宅などの復旧工事費や、他市町村からの避難者の受け入れに要した費用など、総額5億7165万円の補正予算を可決しました。

条例の改正

●行政財産使用条例の改正

質問 免除の対象が3月11日の東日本大震災に限っているようだが、以降の余震やそれ以外の火災などで罹災された方は対象にならないのか。

答
そのようなケースも含めて対応していく考えです。（建設水道課長）

予算の補正

●平成22年度一般会計補正予算

質問 災害対策の寄附金と義援金では全く性格が異なる。義援金の配分方法についてどのように考えているのか。

答
寄附された方々の意思を尊重し、被災者の支援に充てていきます。（総務課長）

質問 寄附された方の意志を確認し、寄附金と義援金を明確に区別しない

と後で混乱することにならないか。寄附であれば町の表彰にも関係して

る。（遠藤宗弘議員）

答 寄附された方の意思を尊重し、適切に対応いたします。（総務課長）

質問 現在の財政調整基金の残高はいくらか。

（新関善三議員）

答
5月31日現在で、約10億3361万円となっています。（企画財政課長）

●一般会計補正予算

質問 この災害関係の予算の中で、東京電力に請求する分はどれ位になるのか。（高橋道弘議員）

答 県が主催する災害賠償請求に関する会議なども踏まえながら、しっかりと対応していきたいと考えます。

（企画財政課長）

質問 原発は一向に収束に向かっていない。このような時期にどこに役場庁舎を建設しようとしているのか。

（菅野清一議員）

答
慎重に議論を重ねながら進めていきたいと考えています。（古川町長）

質問 すべての問題をきちんと洗い出して東京電力に請求していくべきであると思うがどうか。

（遠藤宗弘議員）

答
よく精査し、東京電力に対し要求すべきものは要求していく考えです。（古川町長）



災害関連予算を可決した第4回臨時議会

第5回 臨時会

校庭の表土除去など 放射線低減に関する予算を可決！

6月9日、第5回臨時会が開催され、山木

屋地区に住所のある方の町民税等の減免や、

町内の各小中学校、幼稚園などの表土除去工

事や、高圧洗浄機による校舎等の壁面の清掃

作業など、4074万円の補正予算を可決し
ました。

条例の改正

●東京電力福島第一原子

力発電所原子力災害に

伴う計画的避難区域の

設定による被災者に対

する川俣町税等の減

免の特例に関する条例

質問

自主的に避難して

いる人にはどのように対

応するのか。

(遠藤宗弘議員)

答

あらゆる対策対応に

ついて、幅広く検討して

いきます。(古川町長)

予算の補正

●一般会計補正予算

質問

全く責任のない川

俣町民が原発による被害

を受け、7000万円も

の借金をしたのだから国

や東京電力が全額負担す

べきではないか。

(高橋道弘議員)

答

町としても全て国が

負担すべきだと立場に

立つて、これからも強く

訴えていきます。

(古川町長)

質問

本町は飯舘村の子

供たちを受け入れている。

小中学校や幼稚園などで

校庭等の表土除去や校舎

等の清掃を実施するとの

ことだが、飯舘村の教育

委員会には話しているの

か。(昆久美子議員)

答

予算が確定次第、飯

舘村の教育委員会と協議

し、子供たちの教育に支

障が出ないよう進めてい

きます。

(こども教育課長)

質問

原子力災害に区分

できるものは、すべて東

京電力に請求するという

強い信念を持って臨まな

いと、結局中途半端にな

ってしまふ。その辺につ

いてどう考えているのか。

(遠藤宗弘議員)

答

全くそのとおりだと

認識しています。町とし

ては東京電力だけではなく、

国、国の責任ももっと明

確にするよう引き続き訴

えていきたいと思ひます。

(古川町長)

皆さんの請願・陳情

6月定例会に提出された陳情は1件で請願
はありませんでした。所管する産業建設常任
委員会で審査した結果、採択されました。
なお3月定例会に提出され継続審査となつて
いた陳情2件は、審査の結果、不採択となり
ました。

総務文教常任委員会

陳情 不採択

●別名に化けた外国人参政権への警戒を求める

陳情(継続審査分)

◆陳情者 福島市矢剣町11-3 星野節子

●保育制度改革に関する意見書提出を求める陳

情書(継続審査分)

◆陳情者 福島市渡利字大豆塚7

(さくら保育園気付)

福島県保育連絡会 代表 大宮勇雄

産業建設常任委員会

陳情 採択

●町道、小神秋山線沿い危険箇所改修に関する

陳情書

◆陳情者 川俣町大字小神字浜井場25-2

小神自治会長 斎藤勇雄 外2名